

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

いで湯と陶芸の里にあふれる音楽のまちづくり

2 地域再生計画計画の作成主体の名称

武雄市

3 地域再生計画の区域

武雄市の全域

4 地域再生計画の目標

武雄市は、730年頃に編纂された「肥前国風土記」の中にも記されているように、古い歴史をもつ「いで湯の里」である。また、400年の歴史をもつ焼き物の里でもあり、史跡「肥前陶器窯跡」（国指定）をはじめとする80余りの窯跡が存在し、現在でも20数軒の窯元が芸術性豊かな創作活動を行なっている。そして、3000年の悠久の時を経た「川古のクス」（国天然記念物）など3本の大楠が育つ、緑豊かな巨木の里でもある。

このような歴史・風土・文化を背景とした歴史研究や郷土芸能、舞踊、茶道、華道、短歌、吟詠などの伝統的な文化活動と併せ、武雄市文化祭開催の契機となった50年の歴史を誇る地元合唱団やママさんコーラス、地元吹奏楽団など音楽による文化活動も老若男女を問わず活発に盛んに行われている。

さらに、15・16年度の2年間にわたり子どもたちに様々な文化を体験させるため、文化庁の支援事業である「文化体験プログラム」を活用し、地元の歴史や民俗芸能、陶芸、音楽芸術（吹奏楽）等の体験事業を実施してきた。この事業の中で子どもたちは、とりわけ音楽芸術の素晴らしさを体感し、吹奏楽に対し、意欲の高揚など新たな認識が浸透しつつある状況にあった。

また、武雄市では、第4次総合計画において、明日を担う青少年を育成するために地域、家庭、学校、関係機関が一体となって取り組むことにより、未来の主人公である子どもたちが夢と希望を持てるような社会の形成を目指す「トムソーヤプロジェクト」を重点施策として位置付け、各種機関団体など全市的な推進体制を組織しながら、子育て支援、通学合宿、体験機会や交流機会の提供、指導者養成事業などを推進している。

このような状況において、特に文化体験で子どもたちの関心が高かった吹奏楽について、文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業を活用することにより、地元吹奏楽団を指導者（地域文化リーダー）とし、吹奏楽を愛する子どもたち（市民ジュニアウインドオーケストラ）を育成する事業を展開し、吹奏楽によるまちづくりシンポジウムを開催するなど吹奏楽を通じて市民の心をつなぎ、地域ぐるみで文化を育む心を育てていくまちづくりを推進したい。

地域の文化の興隆は、地域の人が育んできたそれぞれの文化を、地域の人と次世代を担う子どもたちが一体となって伝承、発展させていくことであるとい

う認識のもと、地域で文化活動に取り組んでいる人が地域の子どもたちを指導育成することにより、感性を磨いた子どもたちは、それぞれの分野での後継者として成長してくれるものと考えられ、地域文化の発展向上と、ひいては「文化によるにぎわいや音楽のあふれるまち」の創造が期待できる。

また、音楽関係の自主文化事業として、平成17年度で25回目を迎えるクラシック音楽を愛するアマチュアの祭典である「たけお音楽祭」の開催や、今年度から実施する一般市民や子どもたちを対象とした公募による市民合唱団の結成と演奏会を開催する事業などと共に、温泉と陶芸と自然そのどれをとっても歴史を感じる武雄市で「いで湯と陶芸の里にあふれる音楽のまちづくり」を目指す。

(目標)地域文化リーダー20名を養成し、市民ジュニアオーケストラの指導・育成や「たけお音楽祭」の実行委員会や音楽祭への参加など、地域文化リーダーとしての意識の高揚を図る。また、市民ジュニアウインドオーケストラを育成し、次年度において演奏会を開催する。

5 目標を達成するために行なう事業

5 - 1 全体の概要

吹奏楽を愛する市民ジュニアウインドオーケストラの活動による子どもたちの豊かな心や文化芸術を愛する心を育て、さらには吹奏楽の専門家による技術指導を受けることによる将来の音楽活動の基礎となる技術の習得、そして子どもたちの音楽活動を通じて市民同士の連帯感を高め、地域ぐるみで文化が育つまちづくりを目指し、併せて、子どもたちの指導者となる地域文化リーダーには、この活動を通じこれまで以上に吹奏楽の技術を研鑽することを目指す。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行なう事業

該当無し

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 支援措置

「文化芸術による創造のまち」支援事業 (C0801)

吹奏楽指導者育成事業

吹奏楽の分野で子どもたちが参加する活動を活性化させるため、吹奏楽の指導方法や、指導するにあたっての教育心理学分野の専門家や吹奏楽の講師を招き、講習会を開催する。

武雄市民ジュニアウインドオーケストラの育成

それぞれの場で活動する子どもたちを一つのバンドとして集め子どもたちの市民バンドとして組織し、その活動を活性化させるため、合同練習で技術指導を受けるための講師を招き、同時に地域文化リーダーも指導者として招く。

吹奏楽によるまちづくりシンポジウム

市内の中・高校生・一般が吹奏楽の音楽芸術活動を行なっていることを広くアピールし、多くの市民に活動への参加を呼び掛ける。また、吹奏楽という音楽芸術でまちおこしができる可能性を探るなど、まちおこしをテーマにしたシンポジウムをフリートークの形で開催する。

実施のスケジュール

吹奏楽指導者育成事業

平成17年6月 1回2日間

武雄市民ジュニアウインドオーケストラの育成、地域文化リーダーによる指導

平成17年6月～平成18年1月 7回13日間

専門家による指導

平成17年9月～平成18年1月 2回3日間

吹奏楽によるまちづくりシンポジウム

平成18年1月 1日間

5 - 3 - 2 関連事業

- ・ クラシック音楽を愛するアマチュアの祭典である「たけお音楽祭」の開催
日々自己研鑽しているが発表の場が少ないアマチュア音楽活動家のための音楽祭。(年1回)
- ・ 一般市民及び子どもたちを対象とした公募合唱団の結成及び演奏会
新たに公募合唱団を結成し、その合唱団に作曲家が歌唱指導し、合唱団自らが研鑽努力してひとつのステージを作り上げるようにし、最終的にはプロの合唱団やオーケストラと共演する事業を行なう。(平成17年度～)
音楽を通して、いきいきとした人生をおくる生涯学習の機会と場を提供する。また、子どもたちには多感な少年期に感動することの体験をさせ将来の地域文化の後継者を育てることに繋げる。

6 計画期間

平成17年度～平成18年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

アンケートの実施

地元指導者(地域文化リーダー)

子どもたち(市民ジュニアウインドオーケストラ)

一般市民(シンポジウム参加者等)

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し